

世界のマエストロシリーズvol.1 **S.スクロヴァチェフスキ&読売日本交響楽団 演奏会**

10月4日(金) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP11へ



指揮:スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ  
ピアノ:ペルント・グレンザー  
管弦楽:読売日本交響楽団

F.ショパン/ピアノ協奏曲第1番 ホ短調  
D.ショスタコーヴィチ/交響曲第5番 ニ短調

**名匠の深い音楽を堪能する新シリーズ**

2012年9月のリニューアルオープン後、「東京芸術劇場マチネーシリーズ」「読響メトロポリタン・シリーズ」といったコンサートにより、ますます結びつきが強くなった読売日本交響楽団。10月からは新たに、名匠と呼ばれる指揮者を厳選して指揮台に招き、渾然一体となるような演奏を繰り広げる「世界のマエストロシリーズ」がスタートする。

その第1回目に選ばれたのは、読響ファンならおなじみの桂冠名誉指揮者スクロヴァチェフスキ。

2006年から2010年まで常任指揮者を務め、数々の刺激的な名演を聴かせてくれたのは記憶に新しい。プログラムのメインとなるのは、得意中の得意であるショスタコーヴィチの交響曲第5番。マエストロならではの作品に対する洞察力や鋭いアプローチで、神々しいまでの音楽が響き渡ることだろう。また初共演となるドイツのピアニスト、グレンザーとのショパンでは、堂々とした存在感のある演奏が期待できる。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場 Presents **ブラスウィーク 2013**

10月9日(水)/18日(金) 19:00開演、20日(日) 14:00開演 コンサートホール

詳細はP11～12へ



9日(水) 19:00開演  
ブラス・クインテット ウィーン=ベルリン  
18日(金) 19:00開演  
東京佼成ウインドオーケストラ 第116回定期演奏会  
20日(日) 14:00開演  
東京吹奏楽団 創立50周年 第60回定期演奏会

\*11月10日(日) プラスワークショップ開催  
バンドクニック「中・高生のための楽しい吹奏楽」

**豊かな管楽器の響きがホールを満たす3公演**

吹奏楽および管楽器ファンは聴きのがせないコンサートが、わずか2週間に3つも。2010年から回を重ね大好評の「ブラスウィーク」が、またこの秋もたくさんの聴き手を興奮させてくれる。まず最初に登場するのは、2つの名門オーケストラから選ばれた名手たちの「ブラス・クインテット ウィーン=ベルリン」。金管五重奏の輝かしさを堪能できるアンサンブルだ。日本のトップ吹奏楽団である東京佼成ウインドオーケストラは、日本

が誇るワーグナー指揮者、飯守泰次郎を指揮台に迎えてオール・ワーグナー・プログラムを披露。吹奏楽コンクール等でも演奏されることが多いため、注目すべきコンサートとなる。そして今年が創立50周年となる東京吹奏楽団は、日本の吹奏楽シーンに輝かしい足跡を残してきたマエストロ、汐澤安彦が指揮台に立つ。人気作曲家フィリップ・スパークが、楽団50周年を記念して作曲した新曲の初演も話題を呼ぶだろう。

主催:9日 プロ アルテマジケ/18日 佼成文化協会、東京佼成ウインドオーケストラ/20日 一般社団法人 東京吹奏楽団 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

**前橋汀子 デイライト・コンサート**

11月14日(木) 11:30開演 コンサートホール

詳細はP13へ



ヴァイオリン:前橋汀子  
ピアノ:松本和将

シューベルト/アヴェ・マリア  
バッハ/G線上のアリア  
映画音楽メドレー～シェルブールの雨傘 ほか

**名手の演奏で充実したランチタイムを**

2012年に演奏活動50年を迎え、ますます充実した音楽を聴かせる前橋汀子。有名な協奏曲やヴァイオリン・ソナタなどの演奏と並行し、多彩な小品やメロディアスな映画音楽なども弾き続けてきたが、平日のランチタイム(11時30分スタート)に行われる「デイライト・コンサート」は、まさにそうした曲を楽しめる演奏会。クラシックを聴き慣れていない方でも安心して楽しめる珠玉の作品が次々と演奏される。気軽に音楽を楽しみた

い方、夜はなかなか外出できない方、友人などと誘い合わせてコンサートへ行きたい方、クラシックを聴いて自分を高めたいという方などには特におすすめ。近年は聴き手との距離が近くなるコンサートを積極的に行い、クラシック音楽ファンをもっと増やしたいという前橋が、ますます音楽的に充実している松本和将を共演者に迎え、コクのある音楽をじっくりと聴かせてくれるだろう。2,000円というチケット料金もうれしい。

主催:KAJIMOTO 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場& ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画 **第4回音楽大学オーケストラ・フェスティバル**

11月23日(土・祝)/12月8日(日) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP14～15へ



指揮:北原幸男

指揮:マツミリアーノ・マテシッチ



指揮:川瀬賢太郎

指揮:山下一史

主催:音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会、ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

**未来の名手たちが集う音楽大学の祭典**

数多くの音楽家を輩出し、新しい才能の登場を期待されながら注目を集め続けている8つの音楽大学。毎年秋に、ミューザ川崎シンフォニーホールとの共同企画として行われている「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」は、音楽家の卵たちにとって貴重な体験の場となるコンサートだ。各日とも2校が出演し、4日間で計8校。それぞれ指導を行っている教授らが指揮台に立ち、日頃の成果を披露する。このうち東京芸術劇場で行われるのは2日間

(4校)。11月23日には、北原幸男/武蔵野音楽大学がショスタコーヴィチを、マツミリアーノ・マテシッチ/昭和音楽大学がチャイコフスキーの交響曲を演奏。また12月8日には、東京音楽大学が卒業生である川瀬賢太郎を迎えてベートーヴェンを、山下一史/国立音楽大学がバルトークの難曲を演奏する。ミューザ川崎シンフォニーホールでの11月11日、12月1日(4校)と合わせ、新鮮な演奏が楽しめるはずだ。

**バーミンガム市交響楽団 演奏会**

11月21日(木) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP14へ



指揮:アンドリス・ネルソンス  
ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン  
管弦楽:バーミンガム市交響楽団

ワーグナー/歌劇「ローエングリン」から第1幕への前奏曲  
シベリウス/ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47  
チャイコフスキー/交響曲第5番 ホ短調 作品64

**21世紀のマエストロが描く新時代の演奏**

欧米で今もとても熱い視線を浴びている指揮者の一人、そして次々とCDもリリースされて世界的に注目されている新世代のマエストロ、アンドリス・ネルソンス。2008年に、かつてサイモン・ラトルによる黄金時代を築いたイギリスのバーミンガム市交響楽団へと迎えられ、音楽監督として充実した5年間を送ってきた。その成果が、次々と名門オーケストラが来日する今年の11月に披露されるのだ。東京芸術劇場でのコンサートは、バ

イロイト音楽祭に初登場した「ローエングリン」の前奏曲で幕を開け、来日のたびに音楽的な進化を聴かせてくれるヒラリー・ハーンとのシベリウスへ。さらにはチャイコフスキーの名作交響曲で、このコンビが21世紀の新黄金時代を迎えていることを証明するだろう。スコアを掘り下げるネルソンスの音楽作りは、これからのクラシック音楽シーンを占う指標かもしれない。ハーンとの共演も含め、俊英マエストロを知るチャンスだ。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

パイプオルガンコンサート Vol.17 **光彩で綴るクリスマス**

12月18日(水) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP16へ



オルガン:小林英之、川越聡子

D.クロムプ/コラール変奏曲「きよこの夜」  
O.メシアン/主の降誕  
～オルガンのための9つの瞑想～ ほか

**パイプオルガンが彩る芸劇のクリスマス**

東京芸術劇場のリニューアルオープンと共に、新企画や人気シリーズのグレードアップなどがいろいろ。ホールのエントランス空間で気軽に楽しめる「ティータイム・コンサート」、仕事帰りでも楽しめる「ナイトタイム・パイプオルガンコンサート」、劇場の名物企画「ランチタイム・パイプオルガンコンサート」といったシリーズは、チケット料金もリーズナブルであるため多くの音楽ファンに親しまれている。また、2時間の本格的プログラムを

じっくりと味わえる平日夜の「パイプオルガンコンサート」も、そのひとつ。この12月はおなじみの小林英之と新しくホールの副オルガニストとして迎える川越聡子が、オリヴィエ・メシヤンの幻想的かつ色彩豊かな作品ほかを演奏し、クリスマスにふさわしいコンサートを行う。スクリーンや照明を活用するなどキリストの生誕を祝うちょっとした演出も予定されており、思い出に残る一夜になるだろう。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)